

功績賞 富山茂先生 ご逝去

先月末の常任理事会において、新たに設けられた功績賞を富山茂先生に授与することが決定されました。

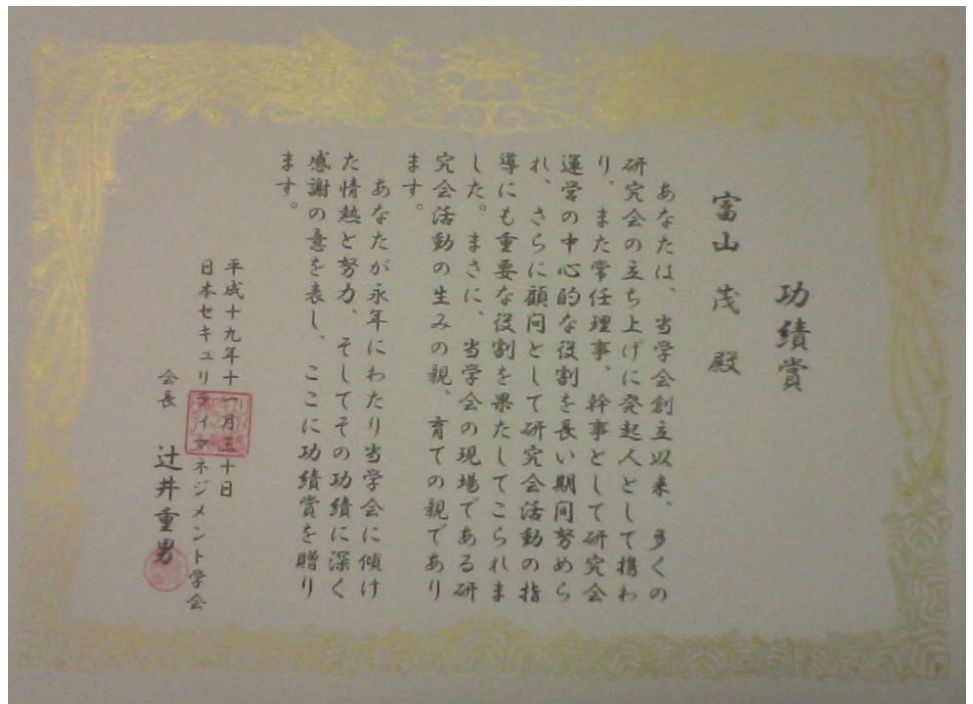
富山先生の、当学会設立以来の永年にわたる研究会活動への尽力と貢献に感謝するものであります。

富山先生には、すぐにお伝えし、お喜びいただきましたが、誠に残念なことに受賞の翌日にご他界をなされました。

富山先生は、かねてからご療養中でございましたが、肺炎を併発され12月1日に旅立たれたとのことでございます。

これまでのご功績に感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

富山茂先生の、これまでの当学会の現場である研究会活動でのご貢献にかんがみ、研究会有志による「富山茂先生を偲ぶ会」が年明け落ち着いてから開催される予定です。



富山先生の研究会活動への貢献

富山先生は、当学会創立以来の中心的存在として理事、常任理事、監事を歴任され、各種活動に取り組んでこられたことは皆様ご承知のとおりです。

具体的には、平成2年及び平成10年に学会から発表の「セキュリティハンドブック」の編集に中心的存在として参画されたほか、個人情報の保護研究会メンバーによる平成14年「経営戦略としての個人情報保護と対策」も編集執筆されたことがあり、さらに特筆すべきは当学会の多くの研究会に積極的に参画してこられたことが挙げられます。

下記に示すように当学会の多くの研究会の立ち上げに発起人として携わり、また幹事として研究会運営の中心的な役割を長い期間努められ、さらに顧問として研究会活動の指導にも重要な役割を果たしてこられました。まさに、当学会の現場である研究会活動の育ての親といえる存在であります。

- 「プライバシー研究会」（その後「個人情報の保護研究会」に改称）の発起人として立ち上げに参画し、幹事として活発な研究会運営に貢献、その後顧問として研究会活動を支援
- 「環境監査研究会」の発起人として立ち上げに参画し、幹事として運営に活躍
- 「システム監査研究会」に参画、研究会の再生に取り組み、「コーポレートガバナンス研究会」に改称後も研究会活動を支援
- 「情報セキュリティ法制度研究会」の発起人として立ち上げに参画、研究活動を支援
- 「セキュアOS研究会」の発起人として立ち上げに参画、顧問として研究会の運営を指導
- 「先端技術とセキュリティ研究会」（その後現在の「先端技術と情報犯罪研究会」に改称）の立ち上げに参画、研究会の活性化を支援
- 「危機管理研究会」にも発起人として参画し、研究会運営に貢献